

JSIA F★★★★

## ALC・窯業系サイディング材・ ボード用シーリング材

# アクリルコーク ジャンボ

ALC板や窯業系サイディング材のジョイント目地施工に適した、アクリル系のシーリング材です。長期にわたり高い弾性を持続するため、下地の動きによく追従します。



アクリル系シーリング材

水性エマルジョン形

容 量	包装形態	梱包単位
900ml	ジャンボカートリッジ	12

### 用 途

適用箇所	屋外及び屋内
適用用途	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ALC板の目地シール及びクラック補修</li> <li>・ 窯業系サイディング材の目地シール</li> <li>・ 各種ボード類の目地シール</li> </ul>

### 標準使用量

10m/900ml (目地幅10mm×目地深さ10mmの場合)
---------------------------------

### 性 質

外 観	白色 ペースト状
主 成 分	アクリル系
指 触 乾 燥 時 間 (タックフリー)	90分以下 (JIS A 1439による)
プライマー使用の 要否	要 (アークプライマー)
標準施工温度	5~35℃

### 使用方法

#### 【下地の確認と清掃】

1. 下地が乾燥している事を確認します。
2. 接着不良の原因となる、ゴミ・ホコリ・油分などを取り除きます。

#### 【プライマーの塗布】

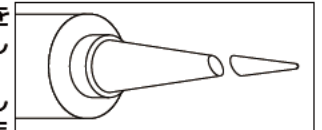
目地部にプライマー（アークプライマー）を塗布します。

#### 【バックアップ材の装着】

目地深さが指定寸法になるようバックアップ材やボンドプレーカーを装着します。

#### 【アクリルコークジャンボの充てん】

1. 必要に応じて目地周辺部にマスキングテープを張り付けます。
2. カートリッジのノズル先端を目地幅に合わせてカットします。
3. カートリッジガンに装着し目地の隅々まで充てんします。



チェック：充てんする時は、気泡が入らないように施工面に押し付けるように充てんします。

4. 充てん後早い時期にヘラ押さえを行い、表面をなめらかに仕上げます。

チェック：不要部分に付着したシーリング材は、直ちにウエスなどで拭き取って下さい。

#### 【清 掃】

1. 周辺を汚さないようマスキングテープを除去します。
2. 目地周辺に汚れが残らないよう清掃を行います。

#### 【養 生】

施工後シーリング材を硬化させるために、夏期は1日以上、冬期は3日以上外力が加わったり、ホコリなどが付着しないように養生をします。

チェック：塗料の上塗りは完全に乾燥した後（約1週間）に行ってください。

### 取り扱い上の注意事項

アクリルコークジャンボを取り扱う時は、以下の項目を守ってください。

- 常時水掛かりになる所へは使用しないで下さい。
- 塗料で上塗りをする場合は事前に確認して下さい。
- 油性、フタル酸系の塗料による上塗りはできません。
- 適用用途以外には絶対に使用しないで下さい。
- 品種の異なるシーリング材と併用・混合しないで下さい。
- 貯蔵は未開封のまま5~25℃の温度で保管して下さい。（0℃以下では凍結することがあります）
- 5~35℃の環境で使用して下さい。
- 取り扱い場所及び施工場所は換気を行ってください。又、施工後もシーリング材が硬化するまで、自然換気（日常生活程度、朝夕1~2時間）を行ってください。
- 使用時は必要に応じて保護具を着用して下さい。
- 開封したシーリング材は、できるだけ早く使い切ってください。
- 直射日光の当たらない屋内に場所を定めて保管して下さい。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 使用後や休憩前には、手洗い・ウガイをして下さい。
- 使用中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を止め、換気のよい場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

# アクリルコークジャンボ

- 目に入った時は直ちに清水で洗い流した後、医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ時は直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 皮フや衣服に付いた時は洗い落して下さい。
- 誤飲防止と食品への混入を避けるために保管場所は食品と区別して下さい。
- 使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託して下さい。
- 河川・湖沼・下水道などへ流入させないで下さい。
- ご不明な点は当社営業担当にお問い合わせ頂くか、安全データシート (SDS) をご参照下さい。
- アクリルコークジャンボをご使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。

- 掲載商品の一部内容を、品種の新設・改良・廃止などにより予告なしに変更する場合があります。
- 本カタログの記載内容は、当社技術開発センターの資料を基に作成し、充分信頼し得るものと確信しております。しかし、現場施工においては、施工箇所の環境・使用材料・施工条件などが異なるため、全ての条件を満足するものではありません。確実な施工を行うためにも、施工前に確認試験をされますようお願いいたします。

株式会社 **タイルメント** 本社営業本部 / 〒453-0067 名古屋市中村区信跡町1-58 TEL: 052-412-7321 FAX: 052-412-8900

東京支店 TEL: 03-3616-2201 FAX: 03-3616-3711	名古屋支店 TEL: 052-411-3511 FAX: 052-411-3516	仙台営業所 TEL: 022-262-5751 FAX: 022-262-5753	広島営業所 TEL: 082-231-1200 FAX: 082-231-7666	北陸出張所 TEL: 076-237-7480 FAX: 076-237-6478	大垣工場 TEL: 0584-89-2225 FAX: 0584-89-2090
大阪支店 TEL: 06-6386-6141 FAX: 06-6386-6146	札幌営業所 TEL: 011-717-5216 FAX: 011-717-5217	横浜営業所 TEL: 045-242-7441 FAX: 045-242-8136	福岡営業所 TEL: 092-451-6503 FAX: 092-481-0621	技術開発センター TEL: 0584-89-8111 FAX: 0584-87-0010	

タイルメント ホームページアドレス <http://www.tilement.co.jp>

関連企業  
◆株式会社イズカ・タイルメント ◆TILEMENT (THAILAND) CORPORATION, L.T.D.

1902Mac00